

2025年度
事業計画書

(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)



学校法人 貞静学園

東京都文京区大塚一丁目2番10号

電話 03(3943)3711

<https://teiseigakuen.ac.jp/houjin/>

はじめに

学校法人貞静学園は、2021～2025 年度の 5 年間に於いて、法人運営および設置校に係る中長期計画として『第Ⅳ期経営戦略基本計画』を策定している。今年度は当該計画の最終年度となるが、2026 年度からの短期大学の学生募集停止により、計画は大きな変更を余儀なくし、経営主体も大きく変化することになった。2026 年度末まで短期大学の教育の質を維持することを踏まえながら、今後は高等学校を中心とした学校経営に切り替えていかなければならない。

ICT・AI・サステナビリティなど、技術革新や社会環境の変化が目まぐるしい時代の中、本学園は建学の精神「至誠(心から誠実・真摯に人と向き合う)・和敬(人を敬い人と協調していく)・慈愛(人やものを慈しみ愛する)」のもと、学生・生徒・園児への人間教育のより一層の充実を図っていかなければならない。

今後教育業界に多大な影響を伴う少子化時代を乗り越えていくために、本学園は教育環境の向上、人的資源の管理、財政基盤の確立、学園ブランドの形成を推進し、大規模な変革を実行することが求められる。その変革の第一歩として、2026 年度からの『第Ⅴ期』となる新たな経営戦略の遂行に向けた基盤とするため、ここに 2025 年度の事業計画を策定する。

目次

I 学校法人の概要

1 設置する学校・学科等	2
2 各学校・学科等の収容定員、在籍数の状況	2
3 役員、教職員の状況	3

II 中長期事業目標

1 貞静学園中長期事業計画「第Ⅳ期経営戦略基本計画」	4
----------------------------	---

III 各部門の事業計画

1 法人事務局	5
2 貞静学園短期大学	7
3 貞静学園中学校・高等学校	9
4 貞静幼稚園	13

I. 学校法人の概要

1 設置する学校・学科等

(1) 学校法人の設立年月日 昭和16(1941)年4月28日

(2) 設置する学校・学科等

学校名	開校年月日	学部・学科等
貞静学園短期大学	平成21年(2009) 4月1日	保育学科 ※2026年度募集停止 専攻科介護福祉専攻 ※2024年度募集停止
貞静学園高等学校	昭和23年(1948) 3月10日	全日制課程普通科
貞静学園中学校	昭和22年(1947) 4月1日	
貞静幼稚園	昭和30年(1955) 11月25日	

2 各学校・学科等の収容定員、現員の状況

2025年4月1日予定

(単位:人)

学校名	入学定員	収容定員	学生数・生徒数・園児数			
			1年次	2年次	3年次	計
貞静学園短期大学						
保育学科	80	200	27	36	—	63
専攻科介護福祉専攻	40	40	募集停止	—	—	—
貞静学園高等学校	300	900	164	186	169	519
貞静学園中学校	50	150	23	21	26	70
貞静幼稚園	35	105	30	35	48	113
合計	545	1,435	244	278	243	765

3 教職員数の概要等

学校別の教員数及び職員数

2025年4月1日予定

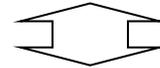
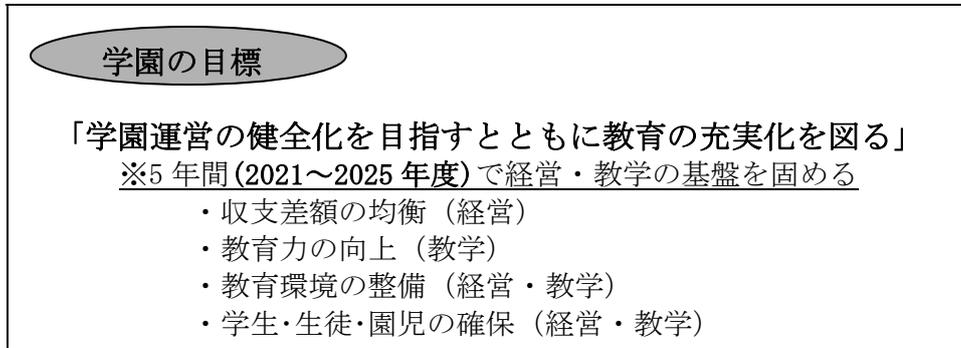
(単位：人)

区分		法人	短期大学	高等学校	中学校	幼稚園	計
教員	本務	0	11	39	4	10	64
	兼務	0	7	32	1	1	41
職員	本務	4	4	10	1	0	19
	兼務	1	4	16	0	4	25
学校計		5	26	97	6	15	149

II 中長期事業目標

1 貞静学園中長期事業計画「第IV期経営戦略基本計画」

学校法人貞静学園は 2012 年より中長期の事業目標である「貞静学園経営戦略基本計画」を策定し、3～5 年周期で目標を定め、2025 年度は当該基本計画の最終年度を迎える。



経営 5 年後の目標：学園の維持・発展
方針 ・事業活動収入=事業活動支出の均衡 ・学習者 1,035 名の確保 (短大 270 名、中学 45 名、高校 600 名、幼稚園 120 名)
1 教育環境整備 ・教育内容にふさわしい環境作り ・校舎の整備充実 ・施設の有効利用 UP ・奨学金制度の検討・充実
2 財政基盤の確立 ・学校単位の収支均衡 ・新規事業と寄付金事業の検討・推進 ・補助金獲得体制の強化 ・校舎の有効活用
3 変化対応力のある組織の確立 ・事務部体制整備 ・人事の適正配置計画の策定 ・ガバナンス体制の検討 ・情報システムの整備 ・リスク管理対応体制の強化
4 ブランドの確立 ・貞静学園のブランド化 ・学校種別同窓会の充実 ・地域連携の強化 ・学園の学校種別広報の強化

教学 5 年後の目標：
質の高い特色のある教育課程の実践と 活気に溢れたキャンパスの構築 FD 活動、SD 活動の強化
1 短期大学 ・少子化が進む中、安定した入学生の確保に努める ・教職員の資質向上と学生の満足度向上を図る
2 中学校・高等学校 ・安定した入学生の確保と高い進学率及び進学実績の確立に努める ・学校力の安定化を求めて、生徒の学力向上及び教職員の指導力・授業力等の資質の向上に努める
3 幼稚園 ・園児の安定した確保に努める ・教員の教育力の一層の向上に努め、保護者の満足度の向上を図る

Ⅲ. 各部門の事業計画

1 法人事務局

【事業の目標】

第Ⅳ期経営戦略基本計画(2021～2025年度)に基づき、事業計画を策定する。

1. 教育環境整備
2. 財政基盤の確立
3. 変化対応力のある組織の確立
4. ブランドの確立

【事業の内容】

1. 教育環境整備

(ア) 教員不足問題の解決に向けた取り組み

①教員採用活動の早期化と多角化に向けた取り組み

- 他学園の労働環境、待遇面、新規教員採用における等の情報収集
- 積極的な採用活動の推進

(イ) 情報セキュリティ対策強化

①各校が安心安全な ICT 教育を推進できるセキュリティ対策の実施

- セキュリティポリシーの検討、整備
- ポリシーに準じた対策の検討、整備

2. 財政基盤の確立

(ア) 校舎貸出等の現有施設を活用した収入確保の検討

①運営組織、各校との連携体制、予算措置の検討

(イ) 資産活用の検討

- ①遊休施設の活用方針の検討
- ②安全性の確保に十分留意した有価証券
- ③資産運用規程

(ウ) 各部門支出削減への取組み支援

①予算編成・予算管理

- 経営・事業計画、予算方針に基づいた予算編成の管理・徹底

②人件費支出抑制の取組み

- 事務の業務改善、効率化を検討し、超過勤務削減や経費抑制を図る
- 事務職員の人件費補助金対象に向けた体制構築、業務の検討
- 事務組織改編による人員の見直し
- SD 活動の推進による業務の効率化実現
- 人事考課制度の導入による給与形態及び賃金体系構築の検討

③寄付金の検討

- 寄付内容、用途指定有無の検討
- 適正処理に向けた規程整備

(エ) 財務データの再整備、活用

①学園の経営状況を常に把握し、的確な経営判断ができるための財務データの活用を目指し、データ構築、抽出、提示に至るまで迅速に行える仕組みの見直しを図り、積極的な財務分析と報告を行う体制を整備する。

3. 変化対応力のある組織の確立

(ア) 法務関連業務の推進

- ①法令改正に対応した体制の検討・整備
 - 労働基準法、障害者雇用促進法、高年齢者雇用安定法等

(イ) 内部統制・ガバナンス強化

- ①内部統制システムの確立
 - 内部監査室の設置、内部監査制度の整備
 - コンプライアンス遵守に向けた取り組み
 - ガバナンス・コードの遵守と定期的なチェックの検討
 - 内部通報・公益通報における外部窓口の設置検討

(ウ) 永続的に学園を存続させる体制の構築

- ①人事考課制度導入の検討
 - 教職員の業務成果や貢献度を公平に評価する仕組みの検討
 - モチベーションの高い優秀な教職員の離職回避
 - 評価が給与に反映される仕組みの構築

(エ) 労働環境改善への取り組み

- ①働き方改革の推進
 - 各校の現状と問題点の洗い出し
 - 健康経営の推進
 - 校務・事務業務の見直し
 - 就業時間内勤務の徹底、時間外勤務の管理と改善
 - 振休・年次有給休暇消化状況と法令に沿った取得の推進
 - クラブ講師の給与見直し、中高教員クラブ負担軽減の推進
 - 法令に準じた規程等整備
- ②事務組織体制の整備
 - 組織改編 … 人事・法務部門の設置、各校部署見直し(分離統合等)
 - 職員の意識向上、業務の効率化

(オ) DXの推進

- ①業務や課題を改善するシステム導入、運用の安定化
 - 勤怠管理システム、人事管理システム
- ②人的資源の管理

4. ブランドの確立

(ア) 学園創立 100 周年事業に向けた準備

- ①教職員、旧教職員、卒業生、在校生、保護者等との協力体制構築
- ②準備委員会等、組織の検討

(イ) 産学連携の推進

- ①アルバルク東京とのアカデミックパートナーによる連携強化
- ②新規連携先の検討

(ウ) CSR の取り組み推進

- ①環境問題への取り組み
- ②労働環境の改善
- ③再生可能エネルギーの利用推進、省エネに向けた施設設備導入

(エ) ホームページの学園統一化に向けた取り組み

- ①2026 年度からの実施を目標

2 貞静学園短期大学

【事業の目標】

1. 学生指導・支援体制の強化
2. 教育活動並びにFSD活動による教員と事務職員との連携強化／教員の教育力、事務職員の業務能力の向上
3. 同窓会組織の確立・強化と卒業教育の実施
4. 官学連携、地域貢献、公開講座の充実
5. ホームページの活用と保育者養成に対する情報発信の強化
6. グローバル化に向けた国際交流関係事業の継続
7. 緊急時・災害時への対策と施設設備の維持管理および整備

【事業の内容】

1. 学生指導・支援体制の強化

※到達目標:2種類の免許・資格取得率の維持向上、修業年限以内で全員卒業を目指す

- (ア) 本学独自教科「キャリア教育」の実施
- (イ) 「アセスメントテスト」(基礎力リサーチ)を毎年実施し、学生の基礎学力等を把握
- (ウ) 学生個々人の適正や能力に応じた個別支援を強化
- (エ) 教育実習、保育実習の支援体制を見直し、実習科目の単位修得ができるよう支援
- (オ) 学生のボランティア活動を充実させるための支援体制強化

2. 教育活動ならびにFSD活動による教員と事務職員との連携強化／教員の教育力、事務職員の業務能力の向上

※到達目標:FSD活動の充実による教職員・学生満足度(授業評価アンケート・事務部アンケート等)の向上

- (ア) 自己点検・評価活動の継続、研修事業への積極的参加
- (イ) SD活動の活性化(事務職員の専門性の向上)
- (ウ) 教員の外部資金獲得による研究活動の活性化
- (エ) FD活動の活性化。教員の授業研究及び教育力の向上
- (オ) 本学独自のFSD活動のため、教職員合同研修会の実施

3. 同窓会組織の確立・強化と卒業教育の実施

※到達目標:独自に運営を持続できる同窓会組織を確立するための基盤を形成する

- (ア) 同窓会会則の見直し
- (イ) 持続可能な同窓会組織の再構築
- (ウ) 同窓会誌の発行
- (エ) 卒業教育の展開を図るための戦略の検討(リカレント教育)
- (オ) 卒業教育のために同窓会と連携を図る

4. 官学連携、地域貢献、公開講座の充実

※到達目標:保育学科の特性を生かし、他大学との差別化を図った地域貢献を実施

(ア) 官学連携の継続実施

- ・文京区との連携事業として「文京区子育てサポーター認定制度のための子育て支援員基本研修」を4回開催(開発費・企画費・教材費等獲得)
- ・文京区との「災害時における母子救護所の開設に関する協定書」に基づき、物資の備蓄場所や避難所として施設提供。
- ・授業科目「キャリア教育」に絡めた活動を主に、大塚警察署、小石川消防署との連携を継続
- ・文京アカデミア講座の実施(夏休み子どもアカデミア講座、アカデミア講座の実施)

(イ) 地域貢献事業の拡大

- ・地域のお祭り、大塚警察署活動等への積極的なボランティア参加
- ・東京都、文京区等が開催するイベントへのボランティア参加
- ・体育館・教室等の貸出拡大を検討

(ウ) 各種公開講座の開講(本学主催)

- ・各種公開講座の継続実施(フラダンス、生け花、運動遊び)
- ・新規講座の検討

5. ホームページの活用と保育者養成に対する情報発信の強化

※到達目標:ステークホルダーに対して適切な時期に魅力的な情報の発信を強化・継続する

(ア) ホームページを活用した情報発信

- ・大学の様子を定期的に更新
- ・在学生、保護者、卒業生、同窓会、就職先、実習先等への情報発信
- ・公開講座等の募集や活動状況の報告
- ・保育・幼児教育の魅力発信
- ・必要な情報公開

(イ) 保育者養成を支えるため、高校内ガイダンス等での説明や模擬授業の実施

6. グローバル化に向けた国際交流関係事業の継続

※到達目標:オーストラリア短期留学が実施できる履修者数(10名以上)を確保する

(ア) オーストラリア、ブリスベンにあるグリフィス大学への短期留学を実施

(イ) 個別留学の可能性について検討

7. 緊急時・災害時への対策と施設設備の維持管理および整備

※到達目標:感染症対策の継続。災害への備え。大学施設設備の整備

(ア) 防災備蓄品の点検

(イ) 施設設備の維持管理および整備

3 貞静学園中学校・高等学校

【事業の目標】

1. 入学者数増のための入試・広報活動の充実
2. 教学(学習指導・生徒指導)の充実
3. グローバル人材の育成
4. 進路指導の充実
5. 教員の資質の向上
6. 安全・安心の保証のある施設管理(業務環境の整備も含む)、非常時対応備品等の整備

【事業の内容】

1. 入学者数増のための入試・広報活動の充実

※到達目標: 中学募集 25 名、高校募集 190 名(中高総募集人数 215 名)

<注力点>

- ・2024 年度の募集活動の課題を分析し、本校の特色(「学力の伸びがある」「きめ細かな面倒見の良い指導体制」)となる教育活動や成果を積極的にアピールする学校訪問・塾訪問、外部説明会、学校説明会など募集活動を計画・展開する。
- ・本校の日々の教育活動、とりわけ特色ある活動について、HP・YouTube・Facebook などを活用して積極的に発信する。
- ・学校説明会、受験イベントの来校率を上げるべく改善し、受験出願者増を目指す。そのために塾・中学校との連携、訪問活動の強化、日程の工夫を行い、塾訪問においては外部委託(エデュケーターサポートサービス)を継続利用する。
- ・高校入試、中学入試において、受験者数を増やすための入試方法の見直しを行う。
- ・コース設定の在り方、コース別募集方法、学級編成等の精査し、改善を図る。

<注力項目>

(ア) 新コンセプトに基づく学校案内等広報媒体の作成

- ・本校の現状に見合ったコンテンツなどのアピールによる認知度向上
- ・今後の学校発展ビジョンの提示による、学校に対する期待感の醸成

(イ) 塾・中学校訪問の強化

- ・受験生や保護者に関わる「指導者」に働きかけることにより、「紹介」「お勧め」からの認知度向上
- ・塾訪問は、効果が顕著のため引き続き広報活動の主軸として実施。

(ウ) HP・YouTube・Facebook の活用

- ・ホームページ、SNS、動画制作などで、受験生や保護者に向け視覚的なアピール。
- ・本校の特色をイメージしやすくするための内容充実。

(エ) 校内外の説明会、体験入学、受験相談会の充実

- ・外部相談会は、来校者増のための「受験生との最初の接点の場」との位置づけ。
- ・説明会や受験生イベント・個別相談で、本校の具体的なイメージ(できればよいイメージ)を与え、受験を前向きに考えてもらう流れの構築。

(オ) 入試要項の見直し・整理

- ・中学入試は、2クラス編成の実現を目指し随時見直し。

2. 教学(学数指導・生徒指導)の充実

※到達目標: 大学短大 80%以上の維持。G-MARCH10 件、国公立大、理系医療・看護系有名大、成成明学独国武、有名女子大、日東駒専、大東亜帝国の合格者増。

「学び直し」による基礎固め重視で検定合格の増加。

「総合的な学習の時間」「総合的な探究の時間」の充実による生徒の探究力の向上。

<注力点>

※教務的分野

- ・学習指導要領の趣旨に即した教育を展開する。
- ・英語・数学を中心に学び直しの徹底による、基礎学力の定着、検定試験合格者の増加を図る。
- ・外国語は、明確な指導目標を設定して、英語力の向上の指導体制を構築する。
- ・学びの自立を図るための学力試験結果の積極的な活用を図る。
- ・学びを中心とする英語教育の評価と課題に即した改善を行う。
- ・学級の編成方法、コース制の在り方、選択教科の設定の在り方の精査、改善を行う。

※進路指導的分野

- ・受験講座、各種講習会を充実させる。

※ICT教育分野

- ・iPadを活用し、スタディサプリや Teams などのアプリを利用して、生徒⇄生徒、生徒⇄教員の双方向授業(一人ひとりの学習活動の即時把握と個別指導)の一層の充実を図る。

<注力項目>

(ア) 中学校教科書採択替え、高等学校全学年新学習指導要領の全面実施に即した指導資料の整備を行い学習指導の充実を図る。

(イ) 国際理解学習を核とした総合的な学習の時間、総合的な探究の時間のカリキュラムの構築

(ウ) 拓殖大学との高大連携事業の構築を通して、生徒の探究力の向上

(エ) 数学・外国語の「学び直し」の徹底、授業・講座・補習による基礎学力の定着

(オ) 幼教コース、特進コースの実態に即した高大連携(大学提携)の推進

3. グローバル教育の推進

※到達目標:外国語(英語)4技能の強化による英語の学力の向上

英語による実践的なコミュニケーション能力の向上

英検の合格者数増(高校卒業までに英検2級を目指す)

<注力点>

- ・国籍や生活スタイル、宗教、価値観の多様性に留まらず、物事をどう見るか、どのように分析や評価をすることができるかという視点を身につけ、グローバル人材の育成を図る。
- ・スタディサプリ English4 技能コースの導入・活用、JET による英会話指導により、4技能対応・英検の合格者数増を目指す。

<注力項目>

(ア) JET プログラムを多様に活用した授業の充実

- ・日々の授業、英検対策、ESS 部活動

(イ) 英検上級クラス取得化の促進

- ・朝学習での単語力向上、英会話の授業内での英検リスニング、ライティング対策
英検対策講座の実施

(ウ) 英語体験活動事業の充実

- ・TGG、ニュージーランド短期留学、オーストラリア留学の実施、グローバル人材の育成を目指した海外修学旅行実施の検討、グローバル人材の育成と外国語教育の関係の明確化

4. 進路指導の充実

※到達目標:将来の姿(目的)を明確にし、目的に合わせてどこに進むのか(目標)を具体的にもち、一人一人の希望に即

した進路実現(進路決定率 90%以上)

<注力点>

- ・授業外の進路にかかわる事業の体系化と充実を図る。
- ・上級生による進学に向けた「体系的・実践的」及び「基礎的・汎用的」情報、社会人による高校段階での学びや進学に関連する情報を発信する。
- ・コース別ステップアップ、学校における基礎的、発展的な情報を提供する。
- ・入試における進路情報の精査及び共有を図る。
- ・コースの特色に即したコース事業を充実させる。
- ・各教科と連携し、大学進学に向けた指導体制を確立する。

<注力項目>

- (ア) 進路講演会、社会人講話の充実
- (イ) 志望理由書・小論文・面接対策講座等受験講座の体系化と充実
- (ウ) 総合的な学習の時間(国際理解学習)の充実と高大連携事業のもと、総合型選抜に対応できる生徒の探究力の向上
- (エ) コースの特色を生かした交流会の充実
- (オ) 進路情報・受験情報の収集・分析・精査で価値ある情報の提供

5. 教員の資質向上

※到達目標:教育の最新情報収集、教員研修に積極的に参加し、社会のニーズに応じた教員の資質の向上

<注力点>

- ・「新学習指導要領」全面実施に即した授業力向上を図るための研修を奨励する。
- ・大学入試変更、多様な大学入試に対応する研修参加を奨励する。

<注力項目>

- (ア) 2026年度大学入試に対応する各種研修会・勉強会への参加奨励
- (イ) 教員評価の実施を通じた授業力向上と職務能力の向上

6. 安全・安心の保証のある施設管理(教育環境の整備)、非常時対応等の整備

※到達目標:管理業務予定等に沿って、定常的メンテナンス及び更新工事の実施、災害予防対応、未来を見据えた安定的な施設・設備の整備。防災備蓄品の充実。

優秀な教員の確保や維持に向けた取り組みを推進。

<注力点>

- ・災害時対応を強化する。
- ・施設、設備の安全点検及び更新作業を行う。
- ・職務の円滑な遂行に向けての環境の整備を行う。
- ・生徒の安心・安全を保証するための教員研修を充実させる。
- ・生徒の安全・安心を保証する施設、備品の改善を図る。
- ・見通しを持った人事計画のもと優秀な教員を確保する。
- ・内に開かれた学校体制、効率的な勤務環境を整備する。
- ・私立中学高等学校協会との連携による勤務環境体制を整備する。

<注力項目>

- (ア) 防災備蓄品と装備の充実(備蓄品の補充・入れ替え管理)
- (イ) 救急救命・防犯への対応力強化(救急救命講習会、防犯訓練)

- (ウ) 情報セキュリティ対策の強化
- (エ) 定期的メンテナンス、防災等設備定期点検、建築設備等定期点検
- (オ) 中庭外壁工事/教室ドア更新工事/舞台吊りもの更新工事/東門交換工事/マルチメディアアクティブラーニング室什器導入
- (カ) 生徒の安心・安全の保証を図るため、防災・救命救急等に対して、正しい知識とスキルを身につけることができるよう教員研修の充実を図る。(甲種防火管理講習、避難訓練・救命救急講習会備品)
- (キ) 激甚災害等に必要な食料や備品を、700名(中高全校生徒と教職員)が3日間滞在できるよう準備する。(災害用備蓄品、防災用品、蓄電池等、非常用照明器具等)
- (ク) 必要な教員数を見通した年度当初からの計画的な教員採用
 - ・幅広い視点からの採用が必要との観点から、業者委託を通しての採用を想定した予算を配置する。
 - ・規則にある採用年齢を超えた優秀な人材を登用可能となる環境の整備。
 - ・採用内定者の確実な確保のための任用前研修の整備や採用前の非常勤講師としての任用。
- (ケ) 教職員への適切な心と体の健康管理 (例 健康診断、ストレスチェックなど)
- (コ) 業務・作業の効率化のための学校備品の充実
 - ・ICT等の積極的活用による校務の効率化 (例 office365、教務システム(Siems))
 - ・円滑な公務遂行のための環境整備・校内備品の充実 (例 複合機のフィニッシャー新設、備品管理の徹底)
 - ・印刷業務の環境維持 (例 試験前等の定期メンテナンス)
- (サ) 私立中学高等学校協会第四支部幹事校(2023年度から)、支部長校(2027年度)を見通した情報共有・連携体制、校内組織体制の整備

4 貞静幼稚園

【事業の目標】

- 1.園児募集活動のさらなる充実
- 2.保育力・指導力の向上
- 3.保育の充実と保育環境の整備
- 4.災害時の備えの強化

【事業の内容】

1. 園児募集活動の充実

※到達目標：年少組入園者数35名【園則定員】

- (ア) ホームページ「TEISEI つうしん」、公式インスタグラムの更新
- (イ) 見学会・入園説明会の実施
- (ウ) 地域施設での入園案内の頒布、ポスターの掲示
- (エ) 転入園児の積極的な受け入れ

2. 保育力・指導力の向上

※到達目標：園児の成長をより支援するために保育力・指導力を高める。

- (ア) 教員研修会への積極的な参加
- (イ) 園内研修の充実

3. 保育の充実と保育環境の整備

※到達目標：保育環境の向上を目指し、保護者の満足度を高める

- (ア) リトミック、茶道教室の実施
- (イ) 体操教室、キッズ英語の実施
- (ウ) サッカー教室、バスケットボール教室、チアダンス教室、テニス教室の実施
- (エ) 知育玩具の購入
- (オ) 電子黒板、書画カメラ等の導入
- (カ) 貞静学園高等学校、貞静学園短期大学との連携
- (キ) 地域との連携
- (ク) 預かり保育の拡充
- (ケ) 学園創立 100 周年に向けて

4. 災害時の備えの強化

※到達目標：災害時に園児を安全に避難させる。また、非常食の補充を行う。

- (ア) 避難訓練の充実
- (イ) 安全点検の充実
- (ウ) 非常食の購入